

【各講義の内容と学習目標】

日程	時間	単元	講師	手法	単元の概要	学 習 目 標
10 月 27 日 (木)	8:45～	オリエンテーション				
	1限目 9:00～10:15	防災行政概要	中村 裕一郎 (内閣府)	座	防災・危機管理の基本的な考え方や防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	・ 防災・危機管理の基本的な考え方を説明できる。
	2限目 10:30～11:45	地域の災害特性	大洲 光知夫 (名古屋地方気象台)	座	地域の災害特性と被害を理解し、地方公共団体の対応を学ぶ。	・ 地域の災害特性について説明できる。
	3限目 12:45～14:00	災害法体系と 防災計画	石田 潤一 狩谷 彰宏 (内閣府)	座	防災活動全体の流れに関連する基本的な法律や防災計画を学ぶ。	・ 防災活動に関連する法令の概要を説明できる。 ・ 防災計画の概要について説明できる。
	4・5限目 14:15～15:30 15:45～17:00	災害対応過程と 態度を学ぶ	竹本 加良子 (サイエンスクラフト)	演	災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学ぶ。	・ 災害発生前後に、必要な行政の対応の流れを、具体的に説明できる。
10 月 28 日 (金)	1限目 9:00～10:15	交通確保・物資物流・ 広域応援の枠組	松永 正大 (元全国物流ネットワーク協会)	座	交通確保と物資物流、広域応援対策の流れと内容について学ぶ。	・ 交通確保と物資物流の概要を説明できる。 ・ 広域応援の実施の流れについて説明できる。
	2限目 10:30～11:45	被災者支援の枠組み	曾我 明裕 (内閣府)	座	被災者支援対策について、災害救助法を中心に学ぶ。	・ 災害時における被災者支援の一つである災害救助法の概要を説明できる。
	3限目 12:45～14:00	警報避難の枠組み	多田 直人 (内閣府)	座	避難勧告ガイドラインを学ぶ。	・ 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
	4限目 14:15～15:30	市町村BCPの概要	大山 直宏 (内閣府)	座	市町村におけるBCPの意味と策定のポイントについて学ぶ。	・ 市町村のBCPの意義と必要要素を説明できる。
	5限目 15:45～17:00	全体討論・閉講	渡邊 弘毅 (サイエンスクラフト)	演	防災力アップのため、災害対応の基本について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。